



冬来たりなば、春遠からじ

校長 川上 晋

先日全校朝会で、「暖かい日と寒い日がかわりばんこに来る、このような時期を四字熟語で何と言いますか。」と、高学年向けに質問しました。もちろん、「三寒四温」です。元々は中国の冬の気候を表す言葉ですが、日本ではこれから暖かくなっていく春先の気候を指していますね。

私はこの時期になると「冬来たりなば、春遠からじ」という言葉をよく思い出します。もちろん、季節のことではなく、「苦しい時期を耐え抜けば、やがて幸せな時期は必ず来る」という意味です。担任時代、子供たちに『冬来たりなば、春遠からじ』今年もいろいろなことがあったけど、それが君たちを成長させたんだ。」なんて、よく話しました。

このような表現から当然、ことわざや故事成語だと思っていたら、イギリス詩人シェリー(Shelley 1792～1822)の長文詩「西風に寄せる歌(Ode to the West Wind)」の最後の部分

「If Winter comes, can Spring be far behind?」だということを最近知りました。「へえ～」と思ったあとに、ふと「あれ、疑問文なのに、なんで『春は遠くないだろう』のような表現なんだろう。」と思いました。よくよく調べてみると、このことに言及しているサイトも結構あり、季節を擬人化して、「(もし)冬が来るならば、春が遙か後ろにいることがあるだろうか。」というような訳になるそうです。

もう3月です。6年生は、新たに旅立つ日が近づいています。1～5年生も進級して新たなステージに立ちます。今年は、新型コロナウイルス感染防止のためにいつもと違うことがたくさんあり、子供たちにとって本当につらかった年になったと思います。東京都の感染者数がかかり減ってきたとはいえ、安易に、もう大丈夫だなんていえませんし、いつ終息するのかも明言できません。それでもやっぱり「冬来たりなば、春遠からじ」と、子供たちには伝えていきたいのです。

今日のあいさつ当番の子が、寒さに体を震わせながら、小さな声で「あっ。」と言いました。その視線の先には、昇降口に咲いているヒメリンゴのうすもも色の花びらが舞っていました。



「If Winter comes, can Spring be far behind?」



行事予定



() は学年 状況により中止等になる場合があります。

1日(月)	保護者会(1・2・3) パワーアップ①	17日(水)	お話会(1)
2日(火)	そろばん教室(3) パワーアップ② 保護者会(4・5・し)	18日(木)	社会科見学(3)
3日(水)	そろばん教室(3)	22日(月)	卒業式予行練習(6) (1～5年は午前授業)
4日(木)	お楽しみ集会 委員会(最終)	23日(火)	大掃除 給食終 卒業式前日準備(5)
5日(金)	そろばん教室(4) 感謝の会 保護者会(6)	24日(水)	卒業式(6) (1～5年は休み)
9日(火)	そろばん教室(4) 安全指導	25日(木)	修了式(1～5年)
11日(木)	JRC集会 クラブ(最終)	◆ 予告なしの避難訓練あり ◆ 令和3年度 始業式・入学式…4月6日(火)	



卒業に向けて

6年 米澤 和茂

3月に入ると、残りの登校日数が17日間になる6年生。子供たちは「卒業」が近づいてきたことに、中学校への期待に胸を膨らませている一方、少し寂しさを感じているようです。今まで、新しい生活様式の中でも最高学年として立派に活動してきた6年生ですが、卒業に向けて更に頑張っています。一人一役として、「感謝の会実行委員」「卒業文集委員」「球技大会実行委員」「ボランティア清掃」などの係に分かれて、それぞれ意欲的に活動しています。特に「6年生を送る会」や、「感謝の会」で披露する合奏の練習には、時間を惜しんで練習に取り組んでいる姿が見られます。

最高学年として汐入小の伝統を引き継ぎ、下級生の手本となり、汐入小を引っ張っていこうと全力で1年間走り続けた6年生です。「手本となる6年生」として、自覚と覚悟をもって、最後の最後まで立派な背中を下級生に見せてほしいと思います。



学芸行事

内山 悦子

2学期に音楽会を予定していましたが、来年度に開催することとなり、6年生にとって小学校生活最後の音楽会も延期になりました。

そこで、卒業までに少しでも多くの思い出を作してほしいと6年担任と一緒に考え、ブラームスの「ハンガリー舞曲第5番」を演奏することにしました。今、6年生は、発表の日を目指して練習しています。この演奏は、3月初めに各クラスに分かれて、朝学習の時間に在校生に発表します。

来年度も、周りの状況に対応しながら、児童の安全を確保し、子供達の豊かな情操を伸ばせる活動ができるような音楽の授業や行事を、担当者全員で工夫していきたいと考えています。



クラブ・委員会活動

池田 由香

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、クラブ・委員会活動共に、今までの活動内容や工夫が沢山見られた年になりました。

クラブ活動では、児童が学年の枠を外し、集団で共通の興味関心を追求しながら児童一人一人の能力を伸ばす取り組みを行っています。調理や運動系のクラブは、クラブ活動の中でも例年通りの活動が難しかったため、ルールや実施方法を工夫して取り組みました。

委員会活動では、主に高学年の児童によって、学校全体の生活を共に楽しく豊かにするための活動を分担して行っています。校内を走らないようにするための歌を作成したり映像を使って児童集会を行ったりしています。また、動物とのふれあいタイムの実施や、手洗いの実験を行うなど、このような状況下でも自分たちができることは何か、今年度は特に児童と教員が一丸となって考え、活動した一年でした。